

町会長連合会だより

平成22年8月15日

第4号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集委員会



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

ふるさと探訪

みかも山大文字焼(黒袴町)



今年で17回目を迎えた「みかも山大文字焼」は、今では佐野の夏の風物詩としてお馴染みですが、ここまでの道のりは決して平坦ではなかったようです。

地元消防団の小京都らしい行事がやれないかという一言が始まりでした。佐野を象徴する三轟山に「大」の文字を浮かび上げることができたら、子ども達の夏の思い出となるし、郷土への愛も深まると開催への思いが深まりました。

休日返上、手弁当で始めた山道の掘削や木の伐採、穴掘りは予想以上に困難でした。何より斜面に「大」の文字を整えることに苦労しました。記念すべき第1回目は煙が出過ぎて灯りが曇ってしまったとのことでした。

4年が経過して消防団から実行委員会へとその母体が変わりました。今では父がやっていたという後継者まで育っているとのことでした。家族も友人も支

えてくれています。飯塚一三九委員長は「続けることができるのは、やろうとしてくれる気持、人の和があるから」と話しています。

7メートルにも上がる炎は思いを乗せて、市内の様々な場所から様々な表情を見せています。



準備に汗する実行委員の皆さん

平成22年度定期総会を
開催しました

平成22年5月21日(金) 佐野市文化会館小ホールにて定期総会を開催し、報告1件、議案4件について審議が行われ、原案のとおり可決されました。

・報告第1号 平成21年度佐野市町会長連合会事業経過について

・議案第1号 平成21年度佐野市町会長連合会歳入歳出決算の承認について

・議案第2号 平成22年度佐野市町会長連合会事業計画について

・議案第3号 平成22年度佐野市町会長連合会歳入歳出予算について

・議案第4号 佐野市町会長連合会役員改選(補充)について



平成21年度 佐野市町会長連合会歳入歳出決算書

科 目	予 算 現 額		収入済額	予算現額との比較	備 考
	当初予算額	補正予算額			
1 交付金	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0 市交付金
2 負担金	1,050,000	0	1,050,000	1,039,000	△11,000 管外視察研修会負担金、役員視察研修会負担金
3 繰越金	989,457	0	989,457	989,457	0 前年度繰越金
4 諸収入	543	0	543	10,395	9,852 慶費、預金利息
合 計	5,040,000	0	5,040,000	5,038,852	△1,148

科 目	予 算 現 額		支出済額	予算現額との比較	備 考
	当初予算額	補正予算額			
1 事務費	200,000	0	200,000	113,825	86,175 通信費、印刷製本費、手数料
2 会議費	50,000	0	50,000	25,740	24,260 会議等諸費
3 事業費	4,550,000	0	4,515,197	34,803	管外視察研修会費、役員視察研修会費、表彰費(新春祝賀会)、会報費、費用弁償、県自治会連合会研修会費、総会費等
4 負担金	100,000	0	100,000	95,700	4,300 栃木県自治会連合会会費、佐野市国際文化交流協会会費、栃木県自治会連合会総会費等
5 慶弔費	40,000	0	40,000	25,000	15,000 見舞金、香典
6 予備費	100,000	0	100,000	0	100,000
合 計	5,040,000	0	5,040,000	4,775,462	264,538

平成22年度 佐野市町会長連合会歳入歳出予算書

科 目	予 算 現 額		収入済額	予算現額との比較	備 考
	当初予算額	補正予算額			
1 交付金	2,500,000	0	2,500,000	2,500,000	0 市交付金
2 負担金	1,110,000	0	1,050,000	60,000	0 管外視察研修会負担金、役員視察研修会負担金
3 繰越金	989,457	0	989,457	989,457	0 前年度繰越金
4 諸収入	543	0	543	610	67 預金利息
合 計	5,040,000	0	5,040,000	5,040,000	0

科 目	予 算 現 額		支出済額	予算現額との比較	備 考
	当初予算額	補正予算額			
1 事務費	120,000	0	120,000	120,000	0 郵便料金、封筒作成費等
2 会議費	30,000	0	30,000	30,000	0 会議等諸費
3 事業費	3,494,000	0	3,494,000	3,494,000	0 管外視察研修会費、役員視察研修会費、表彰費(新春祝賀会)、会報費、費用弁償、県自治会連合会研修会費、総会費等
4 負担金	100,000	0	100,000	100,000	0 栃木県自治会連合会会費、佐野市国際文化交流協会会費、栃木県自治会連合会総会費等
5 慶弔費	30,000	0	30,000	30,000	0 見舞金等
6 予備費	100,000	0	100,000	100,000	0
合 計	5,040,000	0	5,040,000	5,040,000	0

市長との懇談会

岡部市長と理事25名により、市営バスについて、北関東自動車道IC周辺開発について、合併も含めた佐野市の将来像について等の話し合いを行いました。



平成21年度の事業報告です

～平成21年度は主に以下の事業を行いました～

全市一斉清掃・道路愛護活動

とちぎの環境美化県民運動に併せ、5月31日(日)に全町会による一斉清掃を開催し、福田富一知事も清掃活動に参加されました。また8月の道路愛護月間に併せ、8月の第1週の日曜日にも全町会による清掃を実施しました。(一部町会は別日程)

会報の作成

平成20年度より開始した会報を2回発行しました。市民の皆さんに、町会のことや町会長連合会についての多くの情報をお送りします。

視察研修

長野県東御市の総合医療施設の視察、余熱利用施設みかもリフレッシュセンターの視察、千葉県松戸市常盤平団地自治会における孤独死対策についての意見交換会を実施し、今後の町会運営における参考としました。



市長との懇談会

昨年度は市長と町会長連合会理事との懇談会を開催しましたが、本年度と来年度の2カ年で市長と全町会長との懇談会を開催します。

平成22年度の主な取り組みです

会報の作成

市民の皆さんに、より多くの町会に関する情報をお送りするため会報を年2回発行いたします。

行政と町会について

行政と町会との関係について、その内容を整理し協働体制がとれるよう取り組んでまいります。

その他として

- ◎視察研修
- ◎全市一斉清掃・道路愛護活動
- ◎広報活動
- ◎福祉、教育、文化団体・会議などへの参画など

平成22年度 佐野市町会長連合会役員

- 会長 篠崎芳朋 下多田
- 副会長 田中正美 若宮下町
- 副会長 小野一郎 堀米町(内堀米)
- 副会長 長島明二 松井町
- 会計 石田清純 伊賀町
- 【田沼北部地区】 理事 藤倉 準 下町
- 【田沼南部地区】 理事 倉持 勇 原町
- 【堀米地区】 理事 清水季則 吉水
- 【板本地区】 理事 中里幹雄 板本上
- 【戸奈良地区】 理事 飯田明生 戸奈良西
- 【三好地区】 理事 亀田竹芳 戸室
- 【野上地区】 理事 亀山祐市 白岩
- 【新合地区】 理事 遠藤廣明 山形
- 【飛駒地区】 理事 田島恭次 飛駒二区
- 【葛生地区】 理事 川上恵一 中
- 【常盤地区】 理事 恩田 稔 下牧
- 【氷室地区】 理事 松島正次 下秋山
- 【赤見地区】 理事 須藤修男 石塚町(上)
- 【吾妻地区】 理事 横塚和夫 上羽田町
- 【旗川地区】 理事 田中金久 小中町(西)
- 【堀米地区】 理事 林田 享 奈良淵町
- 【犬伏地区】 理事 上岡良雄 浅沼町
- 理事 梅田弘嗣 犬伏中町
- 理事 森 武英 犬伏下町
- 理事 久村純二 犬伏上町
- 【界地区】 理事 青木茂伸 越名町
- 【犬伏地区】 理事 上岡良雄 浅沼町
- 理事 梅田弘嗣 犬伏中町
- 理事 森 武英 犬伏下町
- 理事 久村純二 犬伏上町
- 【赤見地区】 理事 須藤修男 石塚町(上)
- 理事 長 洋一 寺久保町



天明鑄物の発祥の地と
例幣使街道犬伏宿中町
犬伏中町会長
梅田弘 祠

天明鑄物の出現は「平将門の乱」に遡る。天慶二年(九二九年)三月、唐沢山城主藤原秀郷公の命に従い河内国(現大阪府)丹南郡狭山郷日置庄から五人の鑄物師が寺岡村(現足利市寺岡町)に移り軍器の鑄造を行い、さらに治安三年(一〇二三年)犬伏中町金居宿(別名鑄物師入、鐘字ノ入)へ転居したとされている。

中町金居宿は当時鑄造用の資材の生産地であり、そこで初めて湯釜が鑄造され、治安三年



の安と三の文字を取り「安三茶の湯釜」と称された。河内国の天明を象り通号小天明とされ、やがて全国に名声を馳せるに至ったとされている。

慶長七年(一六〇二年)城山(春日岡城)築城に際し、城西の是閑郷に鑄物師は移転し、その後秋山川東岸田町から金吹町、金屋町へと移転して現在に至っています。

犬伏中町金居宿公民館は、平成二十一年二月に新築落成しました。公民館敷地は金居宿の核地でもあることから、あえて天明鑄物の発祥の地が金居宿であり、その歴史文化を後世に遺す意味を含め名称としました。当館内には、正田陽谷名作の茶

の湯釜や手取り釜等を多く展示しています。

また当地は歴史上の遺産も多く、藤原秀郷公の娘富士姫と家臣柏崎光徳の悲恋に因む歌「せせらぎの今も悲しいお姫河原」は当地で読まれたものであり、富士姫の化身である「金の阿弥陀仏」も現存しています。

例幣使街道の下野三番目の宿駅として脇本陣や旅籠屋も多く存在してまいりました。今なお井伊直弼の巡視録にとまなう古文書を保有する旧家もあります。また田中正造翁が衆議院議員に初当選した折の祝勝会は、当地柏屋で催されたということでもあります。

町会に加入しましょう!

町会は皆さんからの会費などを基にいろいろな活動を行っています。

- 1 自主防犯パトロールや自主防災活動
- 2 地域のお祭りでの人々の交流や子ども会、敬老会への協力
- 3 地域の文化の伝承
- 4 清掃活動をとおしての環境美化活動
- 5 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの情報の回覧

受け継がれてきた…
「太々神楽(だいだいかぐら)」

吉水町会長
清水季則

吉水神社の神楽舞は、昭和二年から始められたものです。当時の赤見村大門に古くよりこれを奉納する講中があり隆盛であつたため地元の農民数名が発起人となり、伝授を受け、食物を司る大神である鎮守様(柗神社)に氏子の家内安全、商売繁盛、五穀豊穡を祈願するために始めたとのこと。



猿田彦彦命の舞

昭和六年地元の呉服商を営む荒居庄三郎氏の寄付により神楽殿、お面、豪華な衣装が調えられました。当初始められた方は皆他界されてしまいましたが、現在はその子、孫に当たる者が受け継いでおります。神楽舞は、日本神話に基づいて演じられるもので、十二の舞があります。神社への奉納は、



天岩戸開きの舞

四月の春祭り、十月の秋祭りの年二回奉納されます。

主な舞は、「天岩戸開きの舞(天照大神様の舞)」天照大神様が、天岩戸にお隠れになつた時、天岩戸の前で天宇賀之命が舞い、天照大神様の怒りを静め慰める。手力男之命の強力によつて、天岩戸から天照

を表され、世界に明るさと恵が受けられる舞です。「猿田彦彦命の舞」高天原から神様が降りてくる(天孫降臨)とき、道案内をした天狗様(猿田彦)が露払いとして周囲を払い清める舞です。

「事代主之命の舞」恵比寿の鯛つりとして知られています。恵比寿は大国主命の子事代主だと言われています。ヒョットコと二人で釣りをする舞です。こつした神楽舞を地道にそのままの形で伝承していくことが私たちの役目だと思っております。また豪華な衣装や調度品があることは、吉水町会の誇りだと思っております。



事代主之命の舞

全市一斉清掃を実施しました

5月30日(日) 全市一斉清掃を実施しました。

「地域の環境は私たち自らの手で！」を合言葉に、例年多くの市民の方々の協力のもと実施しています。皆様のご理解があるからこそ続けられていると実感しています。

同日は秋山川清掃も行われ、町内と秋山川両方の清掃に汗を流された方も多くいらっしゃいました。

1日に出るごみの総重量は約10トンあります。地域の環境を守るためには清掃活動はもとより、公共のスペースにごみを出させないような取り組みにも、今後力を入れていかなければならないと感じております。



内堀米町会の皆さんによる秋山川清掃の様子

編集後記

◆昨夏の衆院選では政権交代を、今夏の参院選では与野党逆転という結果を国民は選択したことになる。衆参がいわゆるねじれ国会運営になるということも踏まえた上で投じた結果なのだと思う。一方選挙後の各政党は、数合わせや政党間の駆け引きに重きを置いているようにも映る。試練を与えた国民の意思を真摯に受け止め、良識のある国会運営を望むばかりです。

◆ふるさとの伝統を受け継ぎ、次の世代に伝えていく。さらに新しい伝統や歴史を創造し、ふるさとの誇りを築き上げていく3町会の実践例を紹介しました。観光立市を宣言し、ふるさと佐野の存在を全国に知らしめるこの時期に相応しい本号となったと思う。今後、市民の皆さんが町会活動に積極的に参加し、わが町会ここにありとの誇りと伝統を築かれることを期待いたします。

発行者 佐野市町会長連合会

T327185001

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所行政経営課内

0266312030005

発行責任者 篠崎芳明

編集委員長 飯田明生

編集委員 石田清純 三井 健

上岡良雄 藤倉 準

川上恵一

佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています